

言い伝えは本当か？



「地震のときは竹やぶに逃げろ」という言い伝えがあるそうですが、皆さんは御存知ですか？この言い伝えははたして本当なののでしょうか？今回は、地震と緑地というテーマでお送りします。

「地震のときは竹やぶに逃げろ」という言い伝えは、竹の根が地中に張り巡らされ、地面をしっかりと保持するため、地震に強いと考えられたことからきたものと思われます。

実際、過去の地震において、竹やぶに逃げて難を逃れた事例があるようです。ただし、竹の根は土壌の浅い層で横に這う性質があるため、竹やぶ全体が滑るように崩れる土砂災害となることもあり、一概に安全とは言えないようです。



液状化と樹木

過去に地震で液状化が起こった地域では、地面に走る亀裂が樹木の根元で止まっている様子が観察されています。このことについては、樹林地では樹木の根が発達しているため、相互の根の緊縛効果によって、液状化による地面の変形に耐えることができたのではないかと推測されています。また、田んぼや畑などを埋め立てた土地について、地面が落ち着くまで数年を要すると言われることがありますが、そのような土地に樹木を植えると、樹木によって土壌中の水分が吸い上げられ、土壌の締固まりが促進される効果があるという意見もあります。

こうしたことから、地震発生時に大規模な液状化が起こった際に、根系が十分に発達して大きく生育した樹林は安全な避難先として機能することが期待できます。しかしながら、樹林が手入れ不足の状態、立木密度が高く、1本1本の成長が十分でない場合は、根の発達も不十分のため倒木等の危険性があり、注意が必要です。また、傾斜地の樹林（山林等）は、土砂崩れの

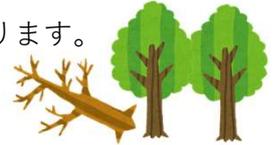
危険性があるため、不用意に近づかないようにしましょう。



耕作放棄地による地すべり誘因

緑地とは少し変わりますが、耕作放棄地についても、地震における注意点があります。

耕作放棄地は、手入れがされないことで土壌中の栄養素が失われ、農地としての品質が保たれなくなりますが、それだけでなく、土地に亀裂が発生する等のトラブルが発生しても放置されることで、亀裂から雨水等が地下に浸透して地下水位が上昇し、地すべりの発生を助長させてしまうといった恐れがあります。



倒木・落枝

地震の際は、通常時よりも倒木や落枝の危険性が高まることが予想されます。普段の管理において、腐朽した樹木や枯れ枝がないかを定期的に確認し、除去していくことで、危険を減らすことができます。

労働力不足、財政難な中で、緑地管理は今岐路に立たされており、今後大きな変革が求められていくと思います。緑地は、直接的には生活に必要なものではないかもしれませんが、QOL（Quality of life：クオリティ オブ ライフ、生活の質を表す）を向上する上で、欠かせないものであると感じます。植栽物は適切な管理を行えば、防災・減災に役立つことができます。しかし、適切な管理がなされない場合、逆に災害を助長・誘引してしまうこともあります。これからは、こうした防災・減災を意識して、緑地の維持管理を行っていくことも、必要になってくるのではないのでしょうか。





- 肥料名称：ジシアンジアミド・硝酸態窒素入り化成
- 成分：窒素 16%
(内アンモニア態10.9%、硝酸態4.0%)
リン酸 18%
加里 10%
Mg 1.5%
B 0.2%
- 正味重量：20kg/袋
- 施用目安：芝生 30~50g/m²
葉菜類 80~140g/m²
果菜類 40~120g/m²
根菜類 40~100g/m²
※葉菜・果菜・根菜類の追肥の場合は
20~30g/m²

- 気温の低い場面で優れた肥効を示す**硝酸態窒素**と、アンモニア態窒素から硝酸態窒素への移行を穏やかにして、窒素成分の流亡を抑える**ジシアンジアミド**（硝酸化成抑制材）を配合。
- 気温の低い時期に定植する作型や、寒冷地・標高の高い地域での生育の長い作物の栽培に適しています。

- 硝酸態窒素とジシアンジアミドの相互作用によって、初期生育を充実させ、その後も安定した肥効を示します。
- 作物の成長に不足しがちな微量元素**マグネシウム**（Mg）・**ほう素**（B）を配合。
- 作物・土にやさしい**硫酸カリ**使用。

亜リン酸化S006

亜リン酸が発根を促進



- 肥料名称：ジシアンジアミド・亜リン酸入り化成腐植酸
- 成分：窒素 10.0%（ジシアンジアミド配合）
リン酸 10.0%（亜リン酸配合）
加里 6.0%
Mg 2.0%
Mn 0.1%
B 0.2%
- 正味重量：20kg/袋
- 施用目安：30~50g/m²

- 発根促進効果のある**亜リン酸**と、窒素成分の流亡を抑える**ジシアンジアミド**（硝酸化成抑制材）を配合。
 - 作物の成長に不足しがちな微量元素**マグネシウム**（Mg）・**マンガン**（Mn）・**ほう素**（B）を配合。
 - 作物・土にやさしい**硫酸カリ**使用。
- ※ 施肥量が多すぎると生育に障害が出る場合があります。
容量を守って使用してください。